

令和6年度 第1回白馬村図書館協議会 次第

日時：令和6年7月25日(木) 10時00分～

場所：白馬村役場 2階 203・204会議室

1. 開会
2. 委員の任命
3. 挨拶
4. 自己紹介
5. 委員長・副委員長選任
6. 会議事項
 - (1) 令和5年度の事業報告・利用状況等について
 - (2) 令和6年度の事業計画について
 - (3) 白馬村図書館等複合施設について
7. その他
8. 閉会

白馬村図書館協議会委員名簿

任期：令和6年6月25日～令和8年3月31日

役職	氏名	所属
委員	富山 正明	白馬村社会教育委員長
	太田 洋一	白馬村公民館長
	本多 希	白馬高等学校
	篠崎 千恵	白馬南小学校
	高橋 英子	公募委員
	伊藤 まゆみ	公募委員
	戸谷 小百合	公募委員
	千國 幸子	公募委員

事務局	松澤 宏和	白馬村図書館長（生涯学習スポーツ課長）
	松沢 由美子	白馬村図書館司書
	大坪 裕子	白馬村図書館司書
	大熊 大智	白馬村図書館司書
	山岸 由美	学校図書（白馬中学校）
	海端 弥生	学校図書（白馬北小学校）
	田中 元気	生涯学習スポーツ課 生涯学習係長

令和 5 年度 白馬村図書館 事業報告

○開館時間 午前 9 時から午後 6 時まで

○開館日数 268 日

○休館日 毎週月曜日、祝日、年末年始、館内整理休館日（毎月最終金曜日）、
特別整理休館日（蔵書点検期間：2月24日から3月7日）
システム更新のため休館（4月11日～4月19日）

○資料

- (1) 蔵書冊数：54,152 冊（令和 6 年 3 月 31 日時点）
当年度受入 1,443 冊（購入 1,113 冊・寄贈 330 冊）／除籍 2,572 冊
- (2) 新聞 朝日新聞・信濃毎日新聞（一年間保存）
大糸タイムス（平成 11 年より保存）
（保存）白馬新聞 平成 11 年 11 月 5 日～平成 20 年 10 月 10 日（最終号）
- (3) 視聴覚資料（DVD・CD等）：523 点所蔵

○おもな図書館サービス

- (1) 貸出 一人 10 点まで（うち視聴覚資料 3 点まで）貸出期限 3 週間 26,934 冊
- (2) レファレンス 情報を求める利用者に対して提供される個人的援助 605 件
- (3) 相互貸借 利用者の求めに応じ、図書館間での資料の貸出借受業務を行う。
（長野県内では送料は借受館が負担、県立からの借受は県立が負担）
他館からの借受：353 冊、他館への貸出：139 冊
- (4) 団体貸出 村内の団体へ 60 日間 100 冊までの貸出を実施） 7 団体 1,726 冊

○図書館ボランティア 登録ボランティア数：2 人（令和 6 年 3 月 31 日時点）
特別整理休館中の蔵書点検の手伝い（点検・本の整理・掃除など）
* 令和 5 年度は、蔵書点検の際に追加募集した人も含めて 11 名が参加

○インターネット用パソコンの設置（平成 24 年 8 月～）
・フィルタリングソフトによる閲覧制限あり（タブレットに更新予定）

○北アルプス地域広域連携事業

- ・白馬村以外の大北区域内図書館から借りてきた本を白馬村図書館で返却：延べ 496 人・2,358 冊
- ・5 館共同で「信濃毎日新聞データベース」（R4.4～）「朝日クロスサーチ」（R5.4）を導入

○デジとしょ信州

- ・利用登録者数 17,591 人（うち白馬村：93 人）
- ・利用可能タイトル数 30,179 冊 ・貸出数 76,692 冊（うち白馬村：822 冊）

■展示・行事等

- 2月 5日 入学おめでとう の本のコーナー（～4月20日）
3月15日 としょかんリサイクル市（不要図書・除籍図書の持ち帰り）（～5月20日）
5月 2日 母の日父の日のコーナー（～6月18日）
6月18日 長野県の「人権について考える強調月間」のコーナー（～8月2日）
7月15日 夏休み課題図書コーナー（～8月31日）
7月18日 読書ビンゴ（73名参加）（～8月31日）
7月22日 芥川賞直木賞コーナー（～8月31日）
8月 5日 （児童書のみ）戦争の本のコーナー（～9月14日）
9月 1日 地域包括支援センターと共同開催 アルツハイマー月間（～9月28日）
9月17日 ハロウィンの本のコーナー（～11月1日）
9月24日 白馬連山氷河調査報告会（ウイング21）にて関連書籍の展示
（引き続き図書館内にて10月19日まで展示・貸出）
10月 4日 「高校生が選ぶなつかしい絵本」コーナー（～11月1日）
10月14日 ・「あそびまなびフェス」にて雑誌・絵本の展示
・図書館内にてハロウィンランタン工作 3名参加
10月21日 青少年育成社会福祉大会（ウイング21にて）関連書籍の展示
11月 1日 災害・防災関連コーナー（～12月2日）
11月 3日 白馬村文化祭（リサイクル本の配布・しおりの配布・ポスター展示）（～11月5日）
11月 5日 図書館内にて、リサイクル本の配布 段ボール5箱分ほど配布（～12月27日）
11月29日 多文化共生講座（ふれあいセンター）にて関連図書展示
12月 3日 クリスマス本のコーナー（～12月24日）
12月24日 お正月の本・辰年（ドラゴン）の本のコーナー（～1月21日）
1月 5日 読書おみくじ（のべ72名）（～1月18日）
1月28日 防災・災害を考える本のコーナー（～2月22日）

■会議・研修等

- 5月25日 館長会議・講演会出席（青木村）
6月 7日 障がい者サービス養成講座（オンライン）
6月30日 図書館協議会
9月 5日 中信地区図書館職員図書室職員連絡会（筑北村）
11月 9日 大北地区職員連絡会（大町市）
3月 1日 中信地区図書館職員図書室職員連絡会（松川村）

○デジとしょ信州 関連の会議・研修会

- ・運営委員会（オンライン）：全11回 ・利用者支援・広報部会（オンライン）：全6回
・選書研修会（オンライン）：2回

第三次白馬村図書館基本計画

(2021 - 2025)

■ 基本理念

一人ひとりの成長に寄り添い、共に創る図書館

■ 基本方針

1. 子どもの読書活動の推進
 - (1) 子ども読書活動推進計画の策定
 - (2) 児童図書の実充
 - (3) おはなし会（読み聞かせ）・ブックスタート等の実施
 - (4) 中高生のニーズへの対応
2. すべての人に開かれ、寄り添う施設運営
 - (1) 高齢者・障がい者等が利用しやすいサービス
 - (2) 多文化・多言語に対応したサービス
 - (3) 生涯にわたる多様で豊かな学びの提供
3. 成長を支える資料の実充
 - (1) 計画的・効率的な資料の収集と管理
 - (2) 新聞・雑誌の提供
 - (3) 視聴覚資料の実充
 - (4) 地域資料の収集・保存・活用
 - (5) 電子図書館の検討
4. 暮らしやまちづくり、課題解決の支援
 - (1) 一人ひとりの成長の支援
 - (2) 課題解決に寄り添うサービスの実充
5. 多様な人々や団体等との協力・連携
 - (1) ボランティアとの協働
 - (2) 学校との連携
 - (3) 博物館・美術館・公民館等との連携
 - (4) 北アルプス地域の公共図書館、県立長野図書館等との連携
 - (5) 地域内外の団体・企業等との連携
6. 情報の発信と情報技術の活用
 - (1) 情報発信
 - (2) インターネット・デジタル技術の活用
7. 持続可能な運営体制の構築
 - (1) 専門人材の育成
 - (2) 資料のリサイクル
 - (3) 個人情報保護と危機管理対応
 - (4) 安心して利用できる環境整備
 - (5) 新たな図書館施設の検討

番号	項目（評価指標）	当初 （R1 年度）	R6.3.31 （R5 年度）	目標 （R7 年度）
6-1 (1)	子ども読書活動推進計画	未策定	未策定	策定
6-1 (2)	蔵書冊数に占める児童図書の冊数・割合	19%	22.9%	25%
6-1 (3)	おはなし会等の開催回数	24 回／年	—	30 回／年
6-1 (4)	ヤングアダルト資料の受入冊数	未把握	123 冊	50 冊／年
6-2 (1)	障がい等に配慮した資料点数	124 点	163 点	150 点
6-2 (2)	外国語資料の開架冊数	161 冊	174 冊	500 冊
6-2 (3)	季節や時事に応じた展示	18 回／年	13 回／年	20 回／年
6-2 (3)	新規登録者数	191 人	147 人	200 人
6-2 (3)	有効登録者数	792 人	725 人	1,000 人
6-2 (3)	人口一人あたりの貸出冊数	3.0 冊	3.1 冊	5.0 冊
6-3 (1)	資料収集方針・蔵書計画	未策定	策定	策定
6-3 (1)	選書・除籍基準	未策定	策定	策定
6-3 (1)	資料の受入（購入・寄贈）冊数	1,246 冊	1443 冊	1,500 冊
6-3 (2)	新聞・雑誌等の受入タイトル数	3 タイトル	27 タイトル	8 タイトル
6-3 (3)	視聴覚資料所蔵点数	475 点	523 点	500 点
6-3 (4)	郷土資料の蔵書数	4,416 点	4264 点	4,500 点
6-4 (1)	地域課題等に関する展示	5 回／年	0 回／年	7 回／年
6-4 (2)	レファレンス件数	979 件／年	605 件／年	1,200 件／年
6-5 (1)	ボランティア活動人数	6 名	4 名	12 名
6-5 (3)	関係機関等と連携したイベント・展示の実施	未実施	6 回／年	年 3 回
6-5 (4)	相互貸借（貸出・借受）冊数	541 件／年	492 件／年	800 件／年
6-5 (5)	雑誌スポンサー	未実施	未実施	5 社
6-6 (1)	Facebook ページ投稿記事数	12 記事／年	36 記事／年	36 記事／年
6-6 (1)	Facebook ページフォロワー数	14 人	75 人	300 人
6-6 (1)	ケーブルテレビ制作番組数	—	—	3 番組／年
6-6 (1)	来館者数	15,052 人	10780 人	18,000 人
6-6 (2)	インターネットによる予約件数	31 件／年	488 件／年	100 件／年
6-7 (1)	司書の研修会参加回数	1 回／年	1 回／年	3 回／年
6-7 (2)	イベント等でのリサイクル本提供	—	2 回／年	2 回／年
6-7 (3)	危機管理対応マニュアル	未策定	未策定	策定

市町村と県による協働電子図書館 令和5年度事業報告

(1) 重点事業

事業期間（令和4～8年度）の2年目となる令和5年度は、4つの部会及び3つの課題解決チームにより、下記事項に重点的に取り組んだ。

- 学校教育との連携 + 多様な学びの場における活用について
 - ・希望する自治体・学校と連携して、教材利用等授業での活用、学校図書館との連携などの方策を検討し、必要な書類のひな形等を提供した。
 - ・小中学校に加えて、高校や特別支援学校、認定フリースクール等でも一括登録ができるよう、「市町村と県による協働電子図書館の利用に関する要綱」を改訂した。
 - ・学校での一斉利用等に資するため、読みもの系の同時アクセスモデルのパッケージ2種に加え、調べもの系の同時アクセスモデルのパッケージ2種を追加で契約した。
 - ・学校での利用を呼び掛けるための説明リーフレットの作成
- 読書バリアフリーのさらなる推進
 - ・アクセシブルライブラリーの本格的な運用を開始し、各種の広報ツールを作成・共有した。
 - ・福祉関係団体や特別支援学校等と連携し、当事者にサービスを届かせるために「体験会」等を開催した。
令和6年2月20日（火）聴覚障がい者向け「デジとしよ信州」体験会（@塩尻市市民交流センター）
- 地域資料の充実
 - ・学校の副読本や地域を学ぶ資料等、自治体が著作権を持つ資料をオリジナルコンテンツとして登録できるよう、選書基準の改訂を行った。引き続き、複数の自治体に関わる場合の方法について検討中。

(2) R5年度収支実績

予算額	27,936,000 円
執行額	27,936,000 円
差 引	0 円

（単位：千円）

科 目	予算額	執行額	差引増減額	備 考
初期サイト構築費	0	0	0	
コンテンツ利用料	26,000	26,000	0	県：8,000 宝くじ助成金：18,000
プラットフォーム利用料	1,936	1,936	0	県：1,936
合 計	27,936	27,936	0	

(3) R5年度運営実績（詳細は別紙のとおり）

	人数・冊数	備 考
利用登録者数	18,281	
貸出数	134,240	
蔵書数	27,963	（R6.3.31時点。期限切れにより随時変動。）
購入コンテンツ	16,707	（R6.3.31時点。期限切れにより随時変動。）
青空文庫	11,196	
デジタル化地域資料	60	

(4) 会議の開催

会議名	開催回数	内 容
全体会議	11回	<ul style="list-style-type: none">・協働電子図書館の運営に関する協議事項の審議・各部会・課題解決チームにおける検討状況の情報共有
総括会議	12回 (臨時1回)	<ul style="list-style-type: none">・全体会議での協議・報告事項等の検討、確認、調整・協働電子図書館の運営の実務的事項に関する協議・検討及び各部会等の調整
利用登録部会	2回	<ul style="list-style-type: none">・「市町村と県による協働電子図書館の利用に関する要綱」における利用登録利用者ID交付等に係る取り扱いの特例案決定（学校一括登録の方法）・上記について校種の拡大
選書部会	4回	<ul style="list-style-type: none">・選書基準の改訂・同時アクセス型コンテンツセット導入・選書研修会の実施
利用者支援・広報部会	6回	<ul style="list-style-type: none">・学校連携、アクセシブルライブラリー広報物作成・概念図の更新
システム部会	0回	
読書バリアフリーチーム	6回	<ul style="list-style-type: none">・アクセシブルライブラリー本格運用開始・アクセシブルライブラリー研修実施
オリジナルコンテンツチーム	5回	<ul style="list-style-type: none">・自治体におけるオリジナルコンテンツ取り組み状況アンケート実施・PDF型オリジナルコンテンツ登録研修会
学校連携チーム	5回	<ul style="list-style-type: none">・学校連携のための各種資料作成・学校を通じた一括登録の検討実施

(5) 受賞

- 全国知事会「先進政策バンク」：令和5年度「先進政策大賞」、「デジタル・ソリューション・アワード大賞」受賞
- (一社) プラチナ構想ネットワーク：第11回プラチナ大賞「優秀賞 地域パートナーシップ賞」受賞

(7) メディア等

●雑誌記事

- ・宮崎 摩紀, 宮澤 優子, 中村 仁美, 清澤 千夏, 小松 久美, 干川 優

『図書館雑誌』117(12), 744-747, 2023.12. 日本図書館協会

市町村と県による協働電子図書館「デジとしよ信州」における学校との活用連携について：リアルとデジタルのベストミックスを目指して

- ・市町村と県による協働電子図書館運営委員会 (小澤 多美子, 南波 鈴花, 平中 和司, 文平 玲子)

『信州自治』77(2,3), p6-15, 2024.3. 信州自治研究会

長野県民はだれでもいつでもどこからでも！ ～市町村と県による協働電子図書館「デジとしよ信州」による学びの基盤と公正な社会づくり～

●書籍

- ・『電子図書館・電子書籍貸出サービス調査報告2023』（電子出版制作・流通協議会）p.78-90

第3章 多様な電子図書館の導入事例「デジとしよ信州：長野県民はだれでもいつでもどこからでも」

●メディア等

- ・日本経済新聞 地域のチカラ街のイノベーション「電子図書館、朝読書・授業に」2024.10.5 他多数

●ラジオ

TOKYO FM「ワンモーニング」（2024.2.19） SBCラジオ「里枝子の窓」（2024.2.24）

FM長野「しあわせ信州ナビゲーション」（2024.3.1）

区分	行	項目	2023		2022		2021	
			R5		R4		R3	
			実績値	前年比	実績値	前年比	実績値	前年比
来館者	1	来館者数	10,780	114.7%	9,398	107.5%	8,741	92.5%
	2	開館日数	268	97.5%	275	100.0%	275	100.7%
	3	一日あたり来館者数	40.2	117.7%	34.2	107.5%	31.8	91.8%

資料整備	4	蔵書冊数	54,152	102.9%	52,614	92.6%	56,791	100.5%
	5	上記のうち児童	11,805	102.4%	11,532	100.9%	11,431	104.6%
	6	上記のうち外国語	945	101.7%	929	101.4%	916	102.1%
	7	上記のうち開架冊数	26849	97.2%	27613	104.4%	26443	102.0%
	8	開架率	49.6%	94.5%	52.5%	112.7%	46.6%	101.5%
	9	視聴覚資料点数	523	101.0%	518	101.0%	513	101.8%
	10	(視聴覚資料のうち録音図書)	37	39.8%	93	258.3%	36	100.0%
	11	紙芝居点数	157	100.0%	157	100.0%	157	100.0%
	12	利用可能な電子書籍タイトル数	27,899	—	21,178	—	0	—
	13	利用可能なデータベース種類数	2	200.0%	1	100.0%	1	100.0%
	14	人口(各年4/1時点)	8,739	103.4%	8,452	98.8%	8,556	97.3%
	15	一人あたり蔵書冊数	6.2	99.5%	6.2	93.8%	6.6	103.3%
	16	受入冊数	1,443	89.9%	1,605	104.9%	1530	136.9%
	17	上記のうち購入冊数	1,113	98.0%	1,136	116.4%	976	141.7%
	18	上記のうち寄贈冊数	330	70.4%	469	84.7%	554	129.1%
	19	除籍冊数	2,572	—	3,126	—	1307	—

運営・サービス	20	貸出冊数(総数)	26,934	103.8%	25,946	114.7%	22,627	84.8%
	21	一般	14,721	101.2%	14,553	113.0%	12,884	83.2%
	22	郷土	414	115.3%	359	78.6%	457	77.7%
	23	児童	8,831	102.6%	8,605	110.4%	7,791	83.6%
	24	ライトノベル(ヤングアダルト)	626	108.5%	577	143.9%	401	
	25	雑誌	1215	166.7%	729	495.9%	147	334.1%
	26	視聴覚資料	846	90.6%	934	137.0%	682	71.3%
	27	外国語本	246	130.2%	189	71.3%	265	92.7%
	28	人口一人あたり貸出冊数	3.1	100.4%	3.1	116.1%	2.6	87.2%
	29	一日あたり貸出冊数	100.5	106.5%	94.3	114.7%	82.3	84.2%
	30	貸出冊数(個人)	25,069	103.0%	24,348	114.4%	21,284	83.4%
	31	貸出人数(延べ人数)	5,773	102.5%	5,632	106.7%	5,277	91.7%
	32	貸出人数(実人数)	725	101.8%	712	100.1%	711	96.6%
	33	貸出冊数(団体)	1,726	108.0%	1,598	119.0%	1,343	114.2%
	34	上記の団体数	7	41.2%	17	242.9%	7	116.7%
	35	登録者数	3,016	98.6%	3,059	97.1%	3,150	104.1%
	36	上記のうち村内登録者数	2777	98.2%	2828	96.6%	2929	103.5%
	37	上記のうち村外登録者数	239	103.5%	231	104.5%	221	112.2%
	38	上記のうち新規登録者数	147	103.5%	142	113.6%	125	89.9%
	39	レファレンス件数	605	89.8%	674	89.0%	757	97.1%
	40	予約・リクエスト件数	994	106.9%	930	91.8%	1013	353.0%
	41	視聴覚資料館内視聴者数(延べ)	1	—	1	—	0	0.0%
	42	情報検索端末利用者数(延べ)	0	#DIV/0!	0	0.0%	3	37.5%
	相互貸借	43	借受冊数	353	93.6%	377	122.8%	307
44		貸出冊数	139	79.9%	174	120.8%	144	175.6%
北アルプス5館連携	45	他館図書返却冊数	2,358	89.9%	2,623	99.5%	2,637	95.0%
	46	利用者数(延べ)	496	106.2%	467	100.0%	467	97.5%

区分	行	項目	2023		2022		2021	
			R5		R4		R3	
			実績値	前年比	実績値	前年比	実績値	前年比
行事・イベント	47	開催回数	3	—	5	—	1	—
	48	参加人数	148	—	102	—	14	—
ボランティア	49	人数	11	137.5%	8	133.3%	6	100.0%
予算	50	図書館事業費(予算額)(千円)	16,215	120.7%	13,430	106.0%	12,668	94.8%
	51	上記のうち図書等購入費(千円)	1,500	115.4%	1,300	92.2%	1,410	100.0%
	52	住民一人あたり予算額(千円)	1.9	116.8%	1.6	107.3%	1.5	97.5%

月別開館日数	53	4月	16	66.7%	24	100.0%	24	104.3%
		5月	22	100.0%	22	95.7%	23	109.5%
		6月	25	100.0%	25	100.0%	25	100.0%
		7月	25	96.2%	26	108.3%	24	96.0%
		8月	25	104.2%	24	100.0%	24	96.0%
		9月	24	100.0%	24	100.0%	24	100.0%
		10月	25	100.0%	25	96.2%	26	104.0%
		11月	23	100.0%	23	104.5%	22	95.7%
		12月	23	100.0%	23	100.0%	23	100.0%
		1月	23	100.0%	23	100.0%	23	100.0%
		2月	18	100.0%	18	128.6%	14	87.5%
		3月	19	105.6%	18	78.3%	23	115.0%

月別来館者数	54	4月	697	115.2%	605	75.6%	800	117.0%
		5月	826	126.9%	651	82.0%	794	117.5%
		6月	1,080	119.9%	901	104.3%	864	105.0%
		7月	955	100.7%	948	102.3%	927	96.0%
		8月	1,098	123.6%	888	95.6%	929	109.0%
		9月	1,105	119.2%	927	114.9%	807	84.8%
		10月	1,079	122.9%	878	109.3%	803	79.7%
		11月	1,039	118.1%	880	105.5%	834	97.1%
		12月	837	119.6%	700	78.7%	890	104.3%
		1月	712	94.3%	755	189.2%	399	57.2%
		2月	736	114.6%	642	439.7%	146	36.0%
		3月	616	98.9%	623	113.7%	548	81.1%

月別貸出冊数	55	4月	2,243	106.9%	2,098	94.8%	2,212	72.9%
		5月	2,261	107.2%	2,109	100.3%	2,102	79.0%
		6月	2,293	106.5%	2,153	101.4%	2,123	91.1%
		7月	2,234	96.7%	2,311	100.9%	2,290	99.9%
		8月	3,020	119.0%	2,537	103.7%	2,447	104.3%
		9月	2,545	110.4%	2,305	108.8%	2,119	105.1%
		10月	2,483	113.8%	2,182	99.0%	2,203	104.0%
		11月	2,118	90.9%	2,331	119.2%	1,956	104.9%
		12月	2,014	105.4%	1,911	100.1%	1,909	81.6%
		1月	1,813	80.8%	2,245	247.5%	907	43.6%
		2月	1,976	107.9%	1,831	455.5%	402	26.0%
		3月	1,934	100.1%	1,933	98.8%	1,957	95.1%

デジとしよ信州 利用統計 2023年4月1日～2024年3月31日

※米国の東部標準時間(時差-13時間)

アクティブユーザ(最終ログイン日ごとのID数)

※ここでは、[最終ログイン日時]が6か月以内のユーザをアクティブユーザと定義しています。

※一度もログイン実績が無いIDは「1年以上ログイン無し」扱いになります。

最終ログイン日	白馬村	大町市	池田町	松川村	小谷村	全県
1年以上ログイン無し	61	148	118	60	43	13030
1年以内	12	26	14	12	6	2127
6ヶ月以内	4	23	13	11	3	2016
3か月以内	9	15	10	11	4	1422
1か月以内	10	19	12	10	3	1873
ID累計数	93	224	158	104	58	17,591
貸出件数	822	870	438	545	92	76692

※2022年6月5日利用申込受付開始、2022年8月5日サービスイン

登録月	ID数		貸出件数	
	白馬村	全県	白馬	全県
2022年6月5日～ 2023年3月31日	75	10,692		
4月	0	476	76	5043
5月	5	892	65	4919
6月	1	684	70	4645
7月	0	492	64	5469
8月	3	436	61	5357
9月	4	285	56	5105
10月	0	451	18	5096
11月	2	845	67	5690
12月	0	1524	95	7631
1月	3	204	49	9416
2月	0	284	96	9446
3月	0	326	105	8875
累計	93	17,591	822	76,692

時間別貸出件数		
時間	白馬村	全県
0	8	1,101
1	1	652
2	1	477
3	3	421
4	8	600
5	19	834
6	27	1,639
7	29	5,063
8	38	4,852
9	44	4,222
10	27	4,545
11	37	4,373
12	54	4,080
13	33	4,865
14	43	4,157
15	40	4,322
16	60	4,189
17	71	3,737
18	76	3,844
19	76	4,220
20	80	4,948
21	34	4,529
22	13	3,108
23	18	1,960

年代別貸出件数		
年代	白馬村	全県
0	3	5,383
10	24	16,378
20	14	3,569
30	72	9,221
40	58	12,538
50	384	11,489
60	261	9,887
70	9	6,890
80	0	1,141
90	0	242

曜日別貸出件数		
曜日	白馬村	全県
日曜日	189	10,463
月曜日	129	11,500
火曜日	107	10,763
水曜日	111	11,337
木曜日	83	10,783
金曜日	105	11,571
土曜日	98	10,321

1. 基本方針

- (1) 住民の「知る権利」を守り、その必要とするあらゆる情報を提供するよう努める。
- (2) 子どもたちの豊かな心と生きる力を育み、また高齢者が豊かに暮らせるように支援する。
- (3) 図書館の利用が困難な方を含め、あらゆる村民が利用できるよう支援する。
- (4) 村内小中学校図書館、県内図書館や関連機関と連携し、資料・情報を提供するとともに、村民の享受できる図書館サービスの充実を図る。
- (5) 村民の村政参画を積極的に支援し、村活性化の一端を担うとともに、村の文化振興に役立つ図書館を目指す。

2. 事業内容

事業名	内容	実施時期
通常業務	資料の収集・管理 (購入図書・寄贈図書の受入・装備/不要図書の除籍) 個人・団体への貸出・予約・リクエスト・相互貸借業務 レファレンス・コピーサービス 情報発信(図書館だより・新刊案内の発行・HP/Facebook) 季節や時事に応じた特設展示 会議・研修への参加 蔵書点検(2月下旬から3月初旬予定) 未返却資料の督促 その他(館内整備、図書館カレンダー作成等)	通年
ブックスタート支援	推薦図書リストの作成・配布	4月(配布)
職場体験	中学生2名~3名受入	未定
ボランティア作業	背ラベルの貼替え・新聞スクラップ・その他 蔵書点検	未定 2~3月
イベント	読書通帳 読書ビンゴ 年末図書館ジャンボ 読書おみくじ 工作(年1~2回実施予定) アクティブブックダイアログ リサイクルブック(除籍本・寄贈等)	通年 7~8月 12月 1月 未定
中高生向け	図書館だよりの作成 中学・高校へ100冊長期貸出	年2回 未定
雑誌購入	R4より購入再開。R5は一部変更・追加(19誌→22誌)	
雑誌スポンサー	R6より開始	

図書館と子育て支援施設の整備方針 に関する説明会

令和6年4月26日 白馬村教育委員会

白馬村図書館等複合施設について

①これまでの検討経過

検討経過 平成29年からの概要

平29.7 ~	図書館施設検討委員会（平30.10まで全9回）	令3.4	住民説明会（候補地の見直し）
平29.10	白馬高校公営塾しろうま學舎ワークショップ	令4.1 ~	白馬村図書館等複合施設検討委員会
平29.11	文化祭での意見聴取、シニアクラブとの意見交換	令4.4 ~	官民連携調査（先導的官民連携支援事業）
	白馬中学校ワークショップ、一般公開ワークショップ	令5.4 ~	事業費の縮減検討
平30.7	アンケート	令5.9 ~	官民連携による事業実施断念
平30.8 ~	有識者会議（令1.11まで全5回）	令5.10 ~	財政シミュレーション、施設整備方法、 建設実施可能年度等の検討
平30.9 ~	公募によるワークショップ（平30.11まで全3回）	令6.3 ~	子育て支援施設を先行して整備する方針を決定 （令7年度着手、令10年度開設）
平31.3	基本構想策定（子育て支援機能の複合化決定）		図書館は一旦先送り
令2.3	基本計画策定（最優先候補地を白馬駅に決定）		
令2.4 ~	JR東日本長野支社との協議		

白馬村図書館等複合施設について

①これまでの検討経過

検討経過 令和4年度からの詳細

図書館等複合施設の建設は、

- ① 現在の子育て支援ルームの西側を候補地
- ② 官民連携による建設と運営を視野

として、令和4年度に国土交通省の先導的官民連携支援事業を活用して調査を実施しました。

この調査時点では参入意欲を有する企業が複数存在しましたが、VFMの効果は見出すことができない結果となりました。

※VFMとは・・・公共施設の整備・サービスにおけるValue For Moneyの効果とは、白馬村が自ら実施する場合の財政負担の見込み額に対して、民間資金を利用して民間に施設整備と公共サービスの提供を委ねる手法により、官と民が連携して実施する場合の白馬村の財政負担の見込み額がどれだけ削減され、質の高いサービスを行うことができるかを示す割合のことです。

白馬村図書館等複合施設について

①これまでの検討経過

検討経過 令和4年度からの詳細

令和5年度には、白馬村の財政状況を考慮し、

複合施設の計画面積を3,000㎡から2,300㎡に縮減したうえで、

官民連携手法に興味を示す企業の参入意向を確認しましたが、

規模縮小により実現が難しい結果となりました。

このため、官民連携手法を断念し、

白馬村が事業主体となり施設の建設と運営をすることとしました。

資金調達	公設公営		PPP (官民連携) 手法		取組形態
	① 公設公営	② PPP	③ PPP	④ PPP	
資金調達	公共	公共	公共	公共	民間
設計 (Design)	民間	民間	民間	民間	民間
建設 (Construct)	民間	民間	公共/民間	民間	民間
維持管理 (Operate)	公共	公共	公共/民間	民間	民間
運営 (Manage)	公共	公共	民間	民間	民間
所有権	公共	公共	公共	公共	公共/民間

※上記は一例であり、他にも様々な手法・方法が考えられます。

官民連携 (官民連携)
官民連携とは、民間企業や団体と行政が協力して、公共施設やサービスの提供を行うことです。民間のノウハウや資金力、行政の権限や土地などを活用し、より効率的に施設を建設・運営することができます。

官民連携に関する法律や規程
地方自治体の官民連携の整備を促進するために、国では平成11年に「官民連携等の促進に関する法律(官民連携促進法)」が制定され、その後、地方自治体の官民連携の推進を図るために、平成29年に「PPP(PPP)法(官民連携促進法)」が制定されました。

白馬村の施設では、事業費の総額が10億円以上の公共施設整備事業を行う場合や、公共施設等の興築・修繕工事を利用する場合に、限りある財源を有効に活用するために、多様な官民連携手法と民間企業(官設公営)とを併用・検討することとしています。

白馬村 生涯学習スポーツ課 電話：0261-85-0726

白馬村図書館等複合施設について

①これまでの検討経過

検討経過 令和4年度からの詳細

建設計画については、

- ①複合施設として建設する場合
- ②子育て支援施設と図書館の施工年度を分けて建設する場合
- ③子育て支援施設を先行して現在地の西側に建設する場合

について、それぞれの建設経費と運営経費の推計を行ないました。

なお、白馬村は、決算に占める災害復旧や施設建設の借入金返済額の割合が高くなっているため、令和6年度予算で、1億6千万円を繰上げて返済します。

今後の推計は、この繰上げて返済したものを反映しています。

白馬村図書館等複合施設について

①これまでの検討経過

検討経過 令和4年度からの詳細

現在の子育て支援ルームがある建設予定地は、これまで子育て支援施設として親しまれてきた経緯があり、役場庁舎、商業施設等に近く立ち寄りやすく、周辺は木流公園に接し、周囲に主要道路などがなく、安全性の高い場所と判断しました。



建設候補地周辺



木流公園

白馬村図書館等複合施設について

②施設整備の考え方

施設整備の考え方は次の通りになります

①複合施設として建設

子育て支援施設と図書館を複合施設として建設します。（仮設施設なし）

②子育て支援施設と図書館の施工年度を分けて建設する場合

子育て支援施設と図書館の施工年度を分けて建設し、財政負担の平準化を図ります。（仮設施設あり）

③子育て支援施設を先行して現在地の西側に建設

図書館は学校図書館との共用化等も検討し、一旦先送りします。（仮設施設なし）

※上記の3つの整備プランは、いずれも新たな用地取得（約4,200㎡）を前提とします。

各プランの内容及び評価は、次項の通りとなります。

白馬村図書館等複合施設について

③施設整備の評価方法及び効果

プラン① 複合施設として建設



(赤枠は用地取得予定地)

前提条件

- ・現子育て支援ルーム奥に用地の確保が必要
- ・設計2年 建築2年 解体1年の事業期間
- ・開所を令和12年度目標とする

事業規模

・総事業費 約19億8千万円

- ・維持管理費
- ・運営費

【年間】

約1,284万円 (約90万円)
約5,465万円 (約3,900万円)
※ () 円は現在の施設での費用

【内訳】

国庫補助等約6億2千万円
起債 約9億3千万円
一般財源 約4億3千万円

※用地取得費と大型遊具費は算入していない。

数年かけて検討した計画となります。官民連携による事業化が望めなくなり、村が実施主体の事業計画になっています。事業規模が大きく、財政的影響が否めないため財政推計を行い事業化の可能性を見極めました。

村の公債費負担を数値化した実質公債費負担による推計をしたところ、複合施設の建設を行ったとしても、数値は18以下で推移する見込みです。しかし、一般財源が約4億3千万円必要なことや、令和13年度頃からは小学校施設整備にも多額の一般財源が必要なため、財源確保（基金取り崩し）などに課題があります。

子育て支援施設は新施設が開所するまで、現施設で対応できるため、仮施設建設などの費用がかからないメリットがあります。

白馬村図書館等複合施設について

③施設整備の評価方法及び効果

プラン② 子育て支援施設と図書館の施工年度を分けて建設



前提条件

- ・用地の確保が必要
- ・子育て支援施設、図書館を時期をずらして別に建築
- ・子育て支援施設 令和7年度～10年度（令和8年度解体、令和11年度開所）
- ・図書館 令和10年度～12年度（開館令和13年度）

事業規模

- ・総事業費 子育て支援施設 約10億8千万円
図書館 約12億円

【内訳】

- 国庫補助等 約9億円
- 起 債 約9億6千万円
- 一般財源 約4億2千万円

（仮設施設に別途7千万円）

【年間】

- ・維持管理費 計 約1,284万円
子育て支援施設 約550万円（約55万円）
図書館 約734万円（約30万円）
 - ・運営費 計 約5,465万円
子育て支援施設 約2,696万円（約2,300万円）
図書館 約2,769万円（約1,600万円）
- ※（ ）円は現在の施設での費用

財政負担が単年度に集中しないように、子育て支援施設と図書館の施工年度を分けた計画となります。なお、子育て支援施設は解体費用を起債対象とするために現在地に建築するようになっています。

しかし、新施設開所までに仮設施設を設置すると費用が割高になります。

また別に施工する場合は、経費や単価の上昇などがあり、総事業費は15%ほど増となります。

白馬村図書館等複合施設について

③施設整備の評価方法及び効果

プラン③ 子育て支援施設を先行して現在地の西側に建設（図書館先送り）



前提条件

- ・用地を確保し、現所在地を駐車場として造成
- ・図書館は先送り
- ・令和7年度着手 令和10年度供用開始

事業規模

- ・総事業費 10億8千万円

【内訳】

- 国庫補助等約3億7千万円
- 起 債 約4億8千万円
- 一般財源 約2億3千万円

【年間】

- ・維持管理費 約550万円（約55万円）
 - ・運営費 約2,696万円（約2,300万円）
- ※（ ）円は現在の施設での費用

後年度に小学校施設整備事業が控えていることから、老朽化している子育て支援施設を先行し、図書館については財政状況を見ながら一旦先送りをします。

新施設が供用開始してから解体となるので、仮施設の設置は不要となり、現在の子育てサービスはそのまま維持することができます。

長い年月をかけて検討した図書館建設案を将来的に実現する用地を確保しつつ、後年度に控えている学校整備計画において学校図書館と公共図書館の共有化等の検討も行います。

プラン②と比較して仮施設は不要となります。

白馬村図書館等複合施設について

④教育委員会事務局における検討結果

教育委員会事務局の検討結果

3つのプランについて、施設整備や維持管理運営におけるメリット・デメリット、財政的な負担等を比較・評価を行った結果、教育委員会事務局としては、

従前の検討のとおり複合施設として整備するプラン①

が最も望ましいという結論に至りました。

財政シミュレーションにおいても、将来の借入金の負担は他のプランと比べて大きく変わることはなく、これまでの検討において住民から要望が多かった、子育てや公園、図書館、交流、居場所等の複合的な機能を有する住民目線の施設整備を行うことで、住民の期待に応えるとともに、効果的・効率的な施設整備や維持管理運営を行うことが望ましいというのが主な理由です。

(各プランごとの実質公債費比率の詳細は次頁のとおり)

プラン① 複合施設として建設



白馬村図書館等複合施設について

④教育委員会事務局における検討結果

0. 複合も単独もなし（繰り上げ償還なし）

決算年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	令和13年度	令和14年度	令和15年度
実質公債費比率（単年度）	17.7%	17.8%	18.7%	18.4%	17.8%	17.4%	15.8%	15.4%	15.0%	14.3%	11.1%
実質公債費比率（3ヶ年度の平均）	16.0%	17.3%	18.0%	18.2%	18.2%	17.8%	16.9%	16.1%	15.3%	14.8%	13.4%
元利償還金の額（繰上償還額等を除く）	748,030	744,060	750,113	708,750	652,287	622,923	571,340	547,995	527,756	509,678	446,777

0.1 複合も単独もなし（繰り上げ償還あり）

決算年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	令和13年度	令和14年度	令和15年度
実質公債費比率（単年度）	17.7%	17.8%	17.2%	16.9%	16.7%	17.1%	15.5%	15.0%	15.0%	14.3%	11.1%
実質公債費比率（3ヶ年度の平均）	16.0%	17.3%	17.5%	17.2%	16.8%	16.8%	16.4%	15.8%	15.1%	14.7%	13.4%
元利償還金の額（繰上償還額等を除く）	748,030	744,060	700,892	659,959	615,905	612,517	560,998	537,745	527,756	509,678	446,777

1. 複合施設（繰り上げ償還あり）

決算年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	令和13年度	令和14年度	令和15年度
実質公債費比率（単年度）	17.7%	17.8%	17.2%	16.9%	16.7%	17.1%	15.5%	15.2%	15.2%	15.0%	13.0%
実質公債費比率（3ヶ年度の平均）	16.0%	17.3%	17.5%	17.2%	16.8%	16.8%	16.4%	15.9%	15.2%	15.1%	14.3%
元利償還金の額（繰上償還額等を除く）	748,030	744,060	700,892	659,959	615,905	612,696	562,434	542,115	534,442	530,545	508,008

複合施設建設 1年目 2年目 3年目 4年目 (起債額：933,000千円)

2. 単独施設（子育て&図書館）（繰り上げ償還あり）

決算年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	令和13年度	令和14年度	令和15年度
実質公債費比率（単年度）	17.7%	17.8%	17.2%	16.9%	16.7%	17.1%	15.6%	15.7%	16.1%	15.4%	12.5%
実質公債費比率（3ヶ年度の平均）	16.0%	17.3%	17.5%	17.2%	16.9%	16.8%	16.4%	16.1%	15.7%	15.7%	14.6%
元利償還金の額（繰上償還額等を除く）	748,030	744,060	700,892	660,082	617,487	614,628	564,855	558,861	563,602	546,286	492,324

子育て支援施設 1年目 2年目 3年目 4年目 (起債額：481,100千円) 起債額合計：956,300千円
 図書館建設 1年目 2年目 3年目 (起債額：475,200千円)

3. 単独施設（子育てのみ）（繰り上げ償還あり）

決算年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	令和13年度	令和14年度	令和15年度
実質公債費比率（単年度）	17.7%	17.8%	17.2%	16.9%	16.7%	17.1%	15.6%	15.7%	16.0%	15.3%	12.2%
実質公債費比率（3ヶ年度の平均）	16.0%	17.3%	17.5%	17.2%	16.9%	16.8%	16.4%	16.1%	15.7%	15.6%	14.4%
元利償還金の額（繰上償還額等を除く）	748,030	744,060	700,892	660,082	617,487	614,628	564,787	558,001	561,225	543,147	480,246

子育て施設建設 1年目 2年目 3年目 4年目 (起債額：481,100千円)

白馬村図書館等複合施設について

④教育委員会事務局における検討結果

4. 過去の実質公債費比率

	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
実質公債費比率 (単年度数値)	22.5	21.9	19.7	16	14.5	12.9	12.4	10.4	10.1	9.6	8.8	11.3	12.8	12.6	14	16.5
実質公債費比率 (3カ年平均数値)	21.6	21.8	21.3	19.2	16.7	14.4	13.2	11.8	10.9	10	9.4	9.9	10.9	12.2	13.1	14.3

5. 他市町村の財政健全化判断比率（令和4年度決算）

	木島平村	白馬村	池田町	佐久穂町	飯山市	駒ヶ根市	小谷村	売木村	飯綱町	大桑村
県平均6.3 実質公債費比率	14.5	14.3	12.1	11.8	11.7	11.6	11.4	11.3	11.1	10.8

白馬村図書館等複合施設について

⑤財政的視点からの検討

前述の教育委員会事務局の意向は理想的であります
が、以下の理由により慎重な判断が必要であるとの結果に至りました。

- 実質公債費比率が高止まりの状況となることが予想されます。
- 複合施設整備に約4億3千万円の一般財源が必要となり、全庁的な影響が大きくなります。
(令和11年は単年で3億円超)
- 令和13年以降からは、小学校施設整備も計画しています。
(合わせて10億円超の一般財源が必要)

それに対して、現在の財政調整基金の残高が約12億円という状況を踏まえると、複合施設整備の場合は、基金を大きく取り崩さざるを得ないこととなりますが、建築資材、人件費、燃料費等の物価高騰、更に近年頻繁に発生している災害発生等への対応を考慮すると基金の取り崩しには慎重な判断が必要となります。

白馬村図書館等複合施設について

⑥最終的な結論

以上のことから、プラン③の複合施設の候補地としていた

- 現在の子育て支援ルーム西側の農地を取得し、子育て支援施設を先行して整備
 - 新たな図書館の整備は一旦先送り
- とする方針としました。

先行して整備する子育て支援施設に隣接する計画に加えて、今後検討を行う小学校施設整備と合わせた整備も視野に入れながら、今後の財政状況等により判断していくこととします。

■現時点で想定している子育て支援施設の事業概要

スケジュール：R7設計、R8～9建設工事、R10既存施設解体撤去・新施設開設

延床面積：約1,000㎡

事業費：10億8千万円

